

業務部速報

No. 43

発行 15. 10. 26

JR東労組 業務部

申13号

「鉄道車両製造事業の再編」を検証し、働きがいのある 鉄道車両製造事業の実現を求める申し入れ 提出!!

2014年4月1日新津車両製作所の車両製造に関わる事業がJ-TRECに移管され1年7ヶ月が経過しました。J-TREC新津事業所では、移管過程の混乱を乗り越えE129系、E235系量産先行車の製造を組合員の創意と工夫で造り上げてきました。

しかし、現実には新津製造所支部の仲間から「JR東日本との関わりが見えない」「将来展望が明らかにならない」「コストダウン重視で創造性のある仕事とはなりえない」など悲痛な声が上がっています。

JR東日本は「鉄道車両製造事業の再編」施策を打ち出し、10年後には1000億円（海外を含む）の事業規模を目指す中で、総括マネジメントとしての役割を果しているのか検証しなければなりません。

JR東日本の「経営の第4の柱」は、日本の鉄道の未来をつくる重要な施策であり、今後の経営に大きな影響を与える施策です。組合員と共に議論を重ね、「鉄道車両製造事業の再編」の議論経過を検証し、現実が発生している課題の克服に向け、職場から運動を積み上げていきましょう。

1. 鉄道車両製造事業の再編以降の事業実情を踏まえた成果と課題を明らかにすること。また、鉄道車両製造事業に関する今後の展望を示すこと。

**組合員は努力し苦勞してきた！
「経営の第4の柱」を担うため
働きがいのある鉄道車両製造事業を求めていこう！**